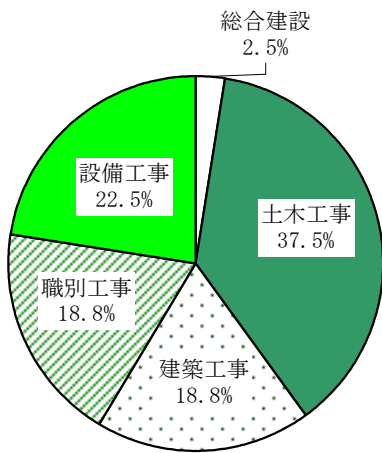


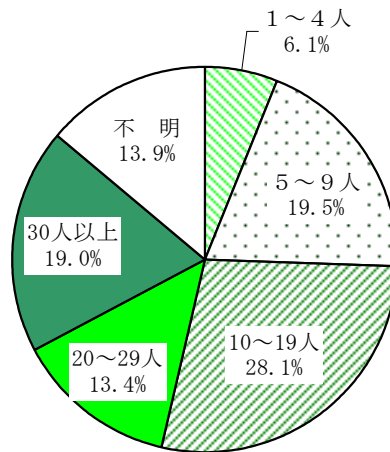
# 1. ①対象となった事業所の特性

- 対象となった800社の業種分類をみると、  
 建築工事業が  
 A県とD県は土木工事業の割合が
- 従業者数をみると、「1～4人」  
 建築工事業では、

業種分類



従業者数



<N=800>

<N=800>

県別業種分類

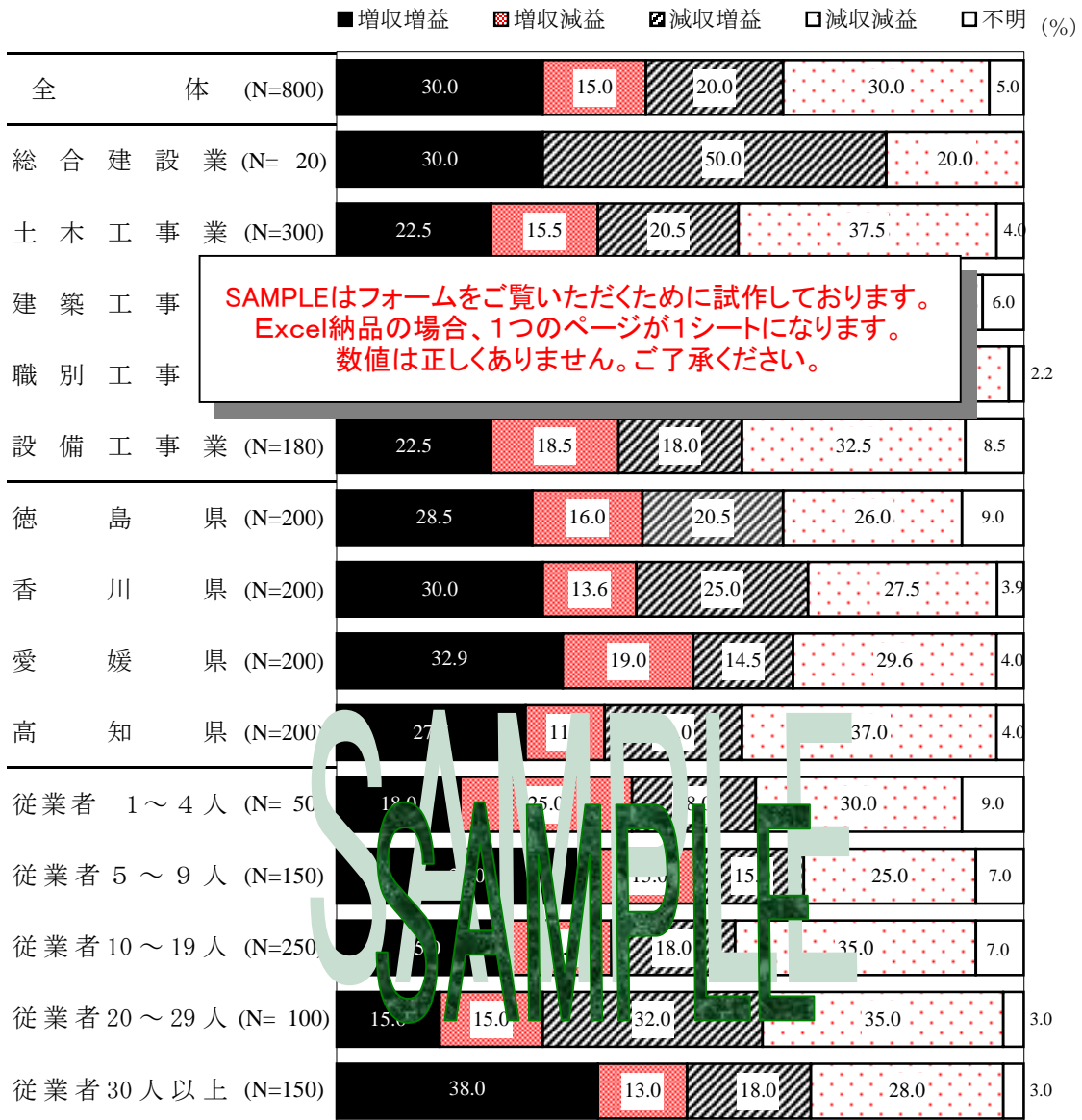
SAMPLEはフォームをご覧いただくために試作しております。  
 Excel納品の場合、1つのページが1シートになります。  
 数値は正しくありません。ご了承ください。

	サンプル数	業種分類					従業者数					
		総合建設	土木工事	建築工事	設備工事	職別工事	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30人以上	不明
全体	800	2.5	37.5	18.8	18.8	22.5	6.1	19.5	28.1	13.4	19.0	13.9
A 県	200	-	50.0	0	15.0	15.0	-	4	2	6	8	-
B 県	200	4.0	25.0	20.0	25.0	26.0	8	50	40	50	2	24
C 県	200	1.0	35.0	20.0	20.0	20.0	2	70	40	30	30	-
D 県	200	5.0	40.0	20.0	20.0	15.0	10	80	30	40	40	55
全体	800	2.5	37.5	18.8	18.8	22.5	6.1	19.5	28.1	13.4	19.0	13.9
土木工事業	20	-	100.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
建築工事業	100	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0
職別工事業	100	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0
設備工事業	180	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0

## 2. 総売上高および当期利益の変化

- 今年度（平成17年度）の800社の総売上高と当期利益の増減をみると、  
増収減益が
- 収益の悪化傾向は強くみられ、  
で、と他業種と比較し業績の良かった業者の比率が最も高い。
- 県別に見ると
- 従業員が5～9人の業者は、逆に従業員30人以上の業者では

### 0-1. 総売上高および当期利益の変化

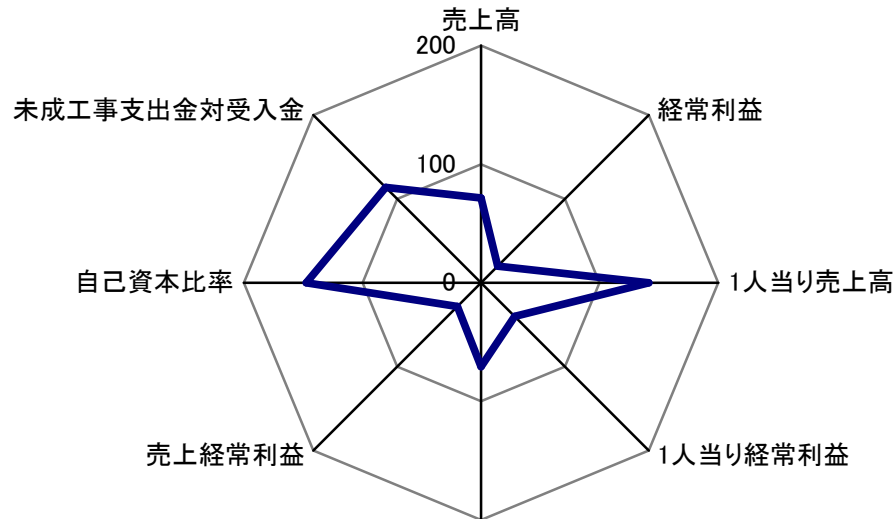


【(株)ABC】

1. 経営バランスの比較分析

\* H8年を100とすると、売上高は71.4%に減少しており、事業規模の縮小傾向が目立っている。一方で、1人当りの生産性を向上させている。しかし、有利子負債を減らすなどの努力により、経営的安全性は向上している。

— H8を100としたときのH17の比率



SAMPLEはフォームをご覧いただくために試作しております。  
Excel納品の場合、1つのページが1シートになります。  
数値は正しくありません。ご了承ください。

		H8	H17	H8を100としたときの比率
成長性	売上高(百万円)	70,000	50,000	71.4
	経常利益(百万円)	1,000	200	20.0
生産性	1人当り売上高(万円)	6,500	9,200	141.5
	1人当り経常利益(万円)	100	60	40.0
収益性	売上総利益率(%)	9.5	6.7	70.7
	売上経常利益率(%)	1.4	0.9	28.3
安全性	自己資本比率(%)	151.5	175.5	147.3
	未成工事支出金対受入金(%)	120.00	105.25	※114.0

※低い方がよい指標なので、H8/H17\*100として算出。